

令和7年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式

令和7年10月21日（火）、米海軍佐世保基地内の「ハーバービュークラブ」において、令和7年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。

この表彰式は、佐世保地区に所在する在日米軍の各施設に永きにわたり勤務された従業員89名に対し、その労をねぎらい、併せて労働意欲及び作業能率の向上を図ることを目的として、日米共催で実施されたものです。

表彰式は、日米両国の国歌吹奏から始まり、主催者挨拶として日本側を代表して伊藤和己九州防衛局長から「従業員の皆様方の御労苦と御努力に対し、心から敬意を表すとともに、苦楽を共にしてこられた職場、ご家族の方々の温かいご支援に深く感謝いたします。これからも日々の活動や交流を通じ、日米両国の架け橋として、更にご尽力賜りますようお願い申し上げます。」と述べられ、また、米側を代表してマイケル・フォンテーン米海軍佐世保基地司令官から「皆さまの確固たるお仕事は、米海軍、日本政府、自衛隊、佐世保市、西海市、そして私たちが生活し働く地域社会の友人や隣人との絆を強固なものとし、皆さま方の日々の努力は、日本を共同防衛し、アジア太平洋地域の持続的な繁栄の基盤である安全保障、安定、自由を維持するという私たちの任務に直接に大きく貢献しています。皆さまのお仕事は、お一人お一人に高い榮譽をもたらし、またご自身とご家族にとって計り知れない誇りの源となっていることを願っております。」との式辞が述べられました。

続いて、勤続年数40年、30年、20年、10年の各代表者に表彰状と記念品が授与され、最後に被表彰者を代表して、米海軍施設技術部隊佐世保環境課の藤澤 恒昌氏が、「私たちが今日まで無事に佐世保基地に勤務することができ、このような素晴らしい表彰を受けることができましたことは、ひとえに日米両国の関係者の皆様、同僚、友人のあたたかいご指導、ご協力によるものであり深く感謝いたしております。私たちはこれからも困難を乗り越え、良好な日米両国関係を維持するために一層精進する所存でございます。」との答辞が述べられ、長崎県をはじめとする来賓の方々や永年勤続者の所属する職場の上司、また、ご家族の参列の下、和やかな雰囲気の中、開催することが出来ました。



▲伊藤和己九州防衛局長の式辞



▲フォンテーン米海軍佐世保基地司令官の式辞



▲表彰状及び記念品の授与



▲被表彰者代表の答辞